



処分組合ニュース

発行：東京都多摩地域廃棄物広域処分組合

【事務局】〒183-0052 東京都府中市新郷2-77-1 東京自治会館内 TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449
ホームページ <http://www.tokyo-shobunkumiai.com> メールアドレス sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com処分組合
加盟団体

八王子市 立川市 三鷹市 府中市 日野市 東大和市 国分寺市 国立市 狛江市 武蔵野市 多摩市 稲城市 羽村市 西東京市 瑞穂町

処分組合は加盟団体からの負担金で運営されています

「処分組合」とは…?

二ツ塚処分場・谷戸沢処分場（日の出町）を管理・運営している特別地方公共団体で、多摩地域25市1町の約390万人の可燃ごみ焼却灰や不燃ごみを、日の出町のみならずの焼却場を有する自治体と共同で処理しています。みなさまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

主な記事

- 【1 画】エコセメント化施設の工事が着々と進行中!
- 【2・3 画】「埋立処理」から、資源として活用する「物質循環」へ
- 【4 画】見学会レポート、目のあたりに、処分組合の動き



自治体で世界初!

エコセメント化施設の工事が着々と進行中!

来春にはいよいよ施設が稼働、製品化へ

処分組合では、ごみ焼却灰を原料としてエコセメントを作る「エコセメント事業」に取り組んでいます。来春の施設稼働に向けて、二ツ塚処分場内でエコセメント化施設の建設が順調に進んでいます。

焼却灰を受け入れるピットや原料を焼成するロータリーキルン(焼成炉)をはじめ、排ガスを処理する触媒脱硝塔や活性コークス塔、煙突などの建設が進み、この5月には施設全体

の7割程度が完成。これから各種機械や電気等の配線、コンピュータ関連機器など、建物内部の設備を整えていく予定です。

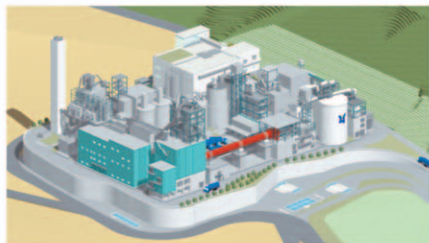
エコセメント化施設建設にあたっては、民間事業者を活用し、そのノウハウを生かすPFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)の考え方を導入、民間企業に委託し、安全かつ効率的に工事を進めています。



建設中のエコセメント化施設(平成17年5月撮影)。



ロータリーキルン(焼成炉)。



エコセメント化施設全体の完成予定図。

エコセメント事業で資源循環型社会を実現

現在、多摩地域の多量焼却灰と破砕した不燃ごみは、二ツ塚処分場で埋立処理されています。「エコセメント事業」は、この焼却灰を埋め立てずに再利用できるため、資源循環型社会を実現する試みとして、国内外から注目を集めています。

来春、エコセメント化施設が完成し稼働を始めると、1日平均300トンのごみ焼却灰を処理し、約430トンのエコセメントが生産される予定です。多摩地域のリサイクルをさらに進める物質循環の第一歩が、もうすぐ始まります。

知恵を出し合い、力を合わせてごみ減量

小林 正則
小平市長

処分組合の理事に就任し、早速、最終処分場を視察してきましたが、地元の日の出町の皆様には本当に下の下があると思います。私は公約の中でも「ごみ減量の取り組み」を掲げていますが、ごみ問題は各自治体に共通する最重要課題であり、「終わりのないもの」で常に工夫と検討をしなければなりません。ただ確実に言えることは、この問題は自治体だけでは解決しない問題であり、皆さんの正しい理解と責任ある行動が不可欠であるということです。

そのために必要な情報は、積極的に広報していきたいと思っています。お互いに知恵を出し合って検討し、力を合わせて全員で最善の策を講じていく必要があると考えています。

市民や事業者の協力によるリサイクル等の推進

坂口 光治
西東京市長

常日頃より、本市のごみ処理につきまして、日の出町の皆様方の深いご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

本市では、平成16年度に「ごみ資源化及び減量推進協議会」を立ち上げ、平成17年度までの2カ年の中で、市民・行政・事業者がそれぞれ立場でごみの減量と資源化を推進するためのアクションプログラム作りに取り組んでおります。市民や事業者に対する意識啓発や、資源となる廃棄物について、再使用・再生利用によって、環境負荷の少ない循環型社会を築き上げることが大事であると考えております。

組合の一理事として今後も一層の努力を重ね、その役割を果たしてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「埋立処理」から、資源として活用する「物質循環」へ

処分組合は、ごみ焼却灰を資源として活用する「エコセメント事業」に取り組み、資源循環型の社会作りをめざしています。

過去

ごみ焼却灰を埋め立てていますがこのままでは、すぐに満杯に！

多摩地域では住民のごみに対する意識が高く、ごみ減量への取り組みやリサイクル率の高さは、全国でもトップレベルといわれてきました。しかし、今後ごみをどのように処理していくか、常に深刻な問題に直面してきました。

昭和59年から多摩地域のごみを埋立処理してきた谷戸沢処分場は、わずか14年間で満杯になってしまいました。その後、多摩25市1町のごみ

焼却灰と不燃ごみのほとんどは、二ツ塚処分場で埋立処理をしています。埋立容積は370万m³ですが、すでに4割近くが埋め立てられ、このままでは平成25年にはいっぱいになってしまいう状況です。

今後、新しい処分場を建設するのは、用地確保などさまざまな面で困難であり、ごみ減量だけでは新しい取り組みが必要です。



二ツ塚処分場ではごみ焼却灰を計画的に埋立処理していますが、このままではいっぱいになります。

現在

エコセメント事業を立ち上げ稼働の準備を進めています

処分組合では二ツ塚処分場をできるだけ有効に活用するため、「エコセメント事業」を推進しています。現在、埋立処理されているごみの約6割は可燃ごみ焼却灰で、これを資源としてエコセメントを製造することで、埋め立てるごみの量を削減し、処分場の使用期間を大幅に延ばすことができます。平成14年に「エコセメント事業実施計画」を決定、平成15年7月に建設お

エコセメント化施設建設地



周辺環境に配慮し、エコセメント化施設を建設中。

よび運営についての契約を締結し、平成16年1月よりエコセメント化施設の建設に着手。現在、施設の建設工事が進んでいます。造成・建設工事で発生する残土は二ツ塚処分場の覆土として使用するなど、環境に配慮しながら建設を行っています。来春の施設完成後には運転テストを繰り返し、本格稼働を迎えます。

平成14年に「エコセメント事業実施計画」を決定、平成15年7月に建設お



二ツ塚処分場地図

未来

物質を繰り返して使うことで、リサイクルに新しい可能性が広がる

エコセメントは、JIS規格で普通のセメントと同等の品質を持つことが実証されています。つまり普通セメントと同じように、建築・土木工事やコンクリート製品等の資材として使用することができます。来春、エコセメント化施設が稼働すると、エコセメントは各自治体などでの利用が見込まれており、建築資材や道路整備等に幅広く使われることでしょう。



道路橋梁として、普通セメントと同じように使われているエコセメント。

エコセメントの集め



「物質循環」ってなに？

ものを使い終わったら、捨てるのではなく再利用しようという動きが広がっています。物質をリサイクルし、形や性質を変えて再び活躍させる一連の流れを「物質循環」といいます。

今まで埋め立てていた多摩地域のごみ焼却灰も、これからはエコセメントとして再利用し、建物や道路などに生まれかわります。これも物質循環のひとつです。



エコセメントの製造過程と安全性

ごみ焼却灰を安全にリサイクルします



●ダイオキシン類を分解して再合成を防ぐ
●重金属類を回収して再資源化

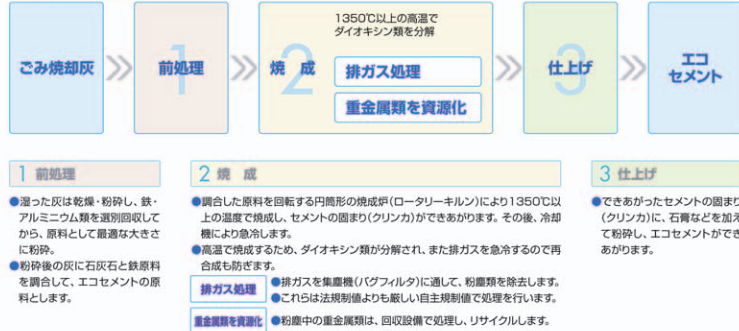
エコセメントは、日本工業規格(JIS)が定める安全性が確認された土木資材です。製造の流れは右図のようになります。

ごみ焼却灰は石灰石と混ぜ合わせ、これを高温で焼いてエコセメントを製造します。焼成炉で高温処理をする際にダイオキシン類が分解され、またこの時に発生する排ガスは急速に冷却されて再合成

を防止します。さらに、ろ過式集塵機(バグフィルタ)で排出ガスを安全に処理します。エコセメントの製造は密閉した施設内で行うので、灰などが飛び散る心配もありません。また回収された重金属類は精錬所に運ばれリサイクルされます。

製造過程での安全性はもちろん、徹底して物質の再利用化を図るシステムです。

＜おもなエコセメント製造の工程＞



1 前処理
●選った灰は乾燥・粉砕し、鉄・アルミニウム類を選別回収してから、原料として最適な大きさに粉砕。
●粉砕後の灰に石灰石と鉄原料を混合して、エコセメントの原料とします。

2 焼成
●調合した原料を回転する円筒形の焼成炉(ローリーキルン)により1350℃以上の温度で焼成し、セメントの固まり(クリンカ)ができあがります。その後、冷却機により急冷します。
●高温で焼成するため、ダイオキシン類が分解され、また排ガスを急冷するので再合成を防ぎます。
●排ガスを集塵機(バグフィルタ)に通して、粉塵を除去します。
●これらは法規制よりも厳しい自主規制制度で処理を行います。
●粉塵中の重金属類は、回収設備で処理し、リサイクルします。

3 仕上げ
●できあがったセメントの固まり(クリンカ)に、石膏などを加えて粉砕し、エコセメントができあがります。

「夏休み処分場見学会」参加者募集！
自分たちが出したごみがどのように処理されているのか、学んでみませんか？どなたでも見学できますので、ぜひご応募ください。

＜日時・行程＞※各回とも、全行程大型バス2台で移動
第1回 平成17年6月5日(金)
8:45 京王多摩センター駅集合→多摩清掃工場→焼成(のりての野原の里)→二ツ塚-谷戸沢処分場→17:00 京王線多摩センター駅解散
第2回 平成17年6月22日(月)
8:45 西武池袋線東大和市駅集合→多摩清掃工場→焼成(のりての野原の里)→二ツ塚-谷戸沢処分場→17:00 西武池袋線東大和市駅解散
＜参加資格＞
往復はがきに「見学会参加希望」と明記の上、①氏名、②年齢(学年)、③住所、④電話番号、⑤希望日を入記し、お送りください。
※①～⑤は参加者全員分を、また多摩地域にお住まいでない方は通学・通学先へお送りください。
※応募者多数の場合は、抽選により決定。結果は返信はがきにて連絡。
＜申し込み・問い合わせ先＞
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 処分組合「見学会」係
＜締切＞
各回とも7月20日(水)必着

見学会

レポート



処分場の見学を積極的に受け入れています

去る5月12日(木)、国立市廃棄物減量等推進員のみなさんが、二ツ塚処分場および谷戸沢処分場を見学に訪れました。概要説明とビデオ上映の後、バスに乗って二ツ塚処分場内を移動し、ごみ焼却灰の埋立てや建設中のエコセメント化施設などを見学。日頃からごみ処理やリサイクルに関心の高いみなさんだけあって、活発な質問が飛び交いました。

処分組合では、処分場の見学を積極的に受け入れており、毎年恒例の「夏休み処分場見学会」も行っています。今年の案内は本紙中面にありますので、ぜひご覧ください。



バスから降りて見学するみなさん。

日の出だより

NO.26

日の出町合併50周年記念事業 第6回 ひまわりまつりを実施

日の出町では、毎年好評の「ひまわりまつり」を8月6日(土)に開催する予定です。

今年から場所を日の出町役場南側の畑に移し、「みんな育てる大きな花壇」をキャッチフレーズに参加者を募り、種まきや草取りなどを自分たちで行って、「ひまわり園」をリニューアルしています。近くは清流・平井川も流れ、真夏の太陽が輝く頃、ひまわりも満開を迎えます。

まつりでは、焼きそば、焼きトウモロコシ、飲食模擬店、親子竹組教室、金魚つかみどり、ひまわりの種プレゼント等を企画。みなさんのご来場をお待ちしています。

■日時/平成17年8月6日(土)予定
■会場/日の出町役場庁舎南側



ひまわりがあたり一面を黄色に染めあげます。



楽しい企画がいっぱいあります。

上記に使用する
お問い合わせ先

ホームページ
日の出町観光協会事務局

http://www.hinode-k.jp
TEL.042-597-0511(内線241・242)

行ってみませんか？ ひので肝要の里

2000年にオープンした、日の出町の食材をおいしく楽しめる施設です。1階の直売所では地元産野菜や農産物を原料にした特産品を販売。2階の食体験コーナーでは落ちついた雰囲気の中で食事やティータイムを過ごせます。これからの季節、木製デッキでオープンカフェを楽しんでみませんか？



ひので肝要の里
TEL.042-597-5290 日の出町大字久野4069
営業/10時30分～18時(一部コーナーは16時30分終了)
休・火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
交通/JR武蔵五日市駅より、
つるつる温泉バスで約15分



日の出町の特産品を販売。



ブルーベリーやキウイを使った手作りジュースやお菓子をお土産に。



ソフトクリームも自給の素材で。

ホームページをご覧ください

http://www.tokyo-shobunkumiai.com

処分組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。ウェブに挑戦しながら「ごみ処理」について知ることができるコーナーも好評です。ぜひアクセスしてみてください。

処分組合の動き

3月23日(水) 谷戸沢処分場水質等調査結果公表(平成16年第3四半期分)

3月23日(水) 二ツ塚処分場水質等調査結果公表(平成16年第3四半期分)

5月19日(木) 二ツ塚処分場敷地内大気中ダイオキシン類調査実施

6月 9日(木) 第13回処分組合技術委員会

6月15日(木) 第17回環境保全調査委員会

6月22日(水) 平成17年第2回正・副管理者会議

6月23日(木) 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会

6月28日(火) 第22自治会二ツ塚処分場対策委員会

【技術委員会】

処分組合の業務全般にわたる技術的検討、調査・助言などを行うための組織。

【環境保全調査委員会】

谷戸沢処分場における環境保全のための各種調査に関し、実施状況の確認および調査内容等を検討する組織。

【管理者および副管理者】

組合の責任者として管理者1名および副管理者3名を置く。

【谷戸沢処分場監視委員会・二ツ塚処分場対策委員会】

地元自治会のみなさんによる組織。処分場の埋立作業や環境調査等に立ち合っているほか、調査結果や安全対策等について、継続的に意見交換を実施。

三多摩は一つなり交流事業

日の出町住民が日野市で交流

「三多摩は一つなり交流事業」は、最終処分場を受け入れていただいている日の出町の方々や多摩地域の住民とが交流し、相互の理解を深めていくことを目的として、年10回程度行われています。処分組合では、この事業を支援しています。

去る5月8日(日)には「ひの新撰まつり」と多摩テックへ、日の出町の住民11家族・39名のみなさんが訪問されました。日野市は同事業が始まった平成11年度から主催を譲り負っており、今回7度目、多摩テックへの招待は4度目を数えます。



多摩テックを訪問した日の出町住民のみなさん。